

西中だより

学校教育目標

目指す生徒像：豊かな心と学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる生徒

目指す学校像：すべての生徒に喜びと感動を育み、笑顔あふれる西中学校

川口市立西中学校

〒332-0028

川口市宮町16-1

Tel 048-253-1231

Fax 048-251-6792

令和5年10月30日発行

ガチで、西中校区の地域は最高だ！と叫びたい

校長 三浦 伸之

さわやかな秋晴れとなった10月22日の日曜日に、西地区連合町会合同祭礼が行われました。2年に一度開催される地元伝統のお祭りですが、2年前はコロナ禍で中止となり、今年は4年ぶりの開催となりました。

西中はこの祭礼を「ふれあい祭り」として学校行事に位置付けて、全生徒が各町会の神輿の担ぎ手や山車の引き手、高張提灯の持ち手などの他に、お祭りに関連する様々な役割に就かせてもらい、祭礼の一員として参加させていただいています。

お祭りを終えて、後日、生徒たちにふれあい祭りの感想を書いてもらいました。ここでは、西中を代表して3年生の書いた感想を一部ご紹介します。

- 地域のひとと学校が協力して何かをやるというのは初めてだったので、何だか新鮮でした。地域の人々が「お祭り」に本気で参加しているのを見て、この町の活気というものを目で、肌で感じることができた。
- ふれあい祭りで神輿を担いでとても楽しかったし、とてもいい経験をした。みんなで声を出し、肩が痛くなるまで神輿を担いでとても楽しかった。
- 始まる前に、そこまで大きな提灯は持たないだろうと思っていたけど、思っていたよりも結構大きくて重かったし、神輿も大きかったし、地域がこの一日で一気になぎやかになって楽しかったので、すごくよかったです。
- 最初は、お神輿を担ぐことに対して少し抵抗があったけれど、時間が経つにつれて、町会の人々の熱意や団結力に圧倒され、とても楽しく過ごせた。提灯を持つときも町会の人たちが声をかけてくれて、町会の人たちはみんな温かいと思いました。また機会があればやりたい。
- 普段生活してる中でなかなか経験できない伝統的な行事に参加できて、自分の住んでいる町にこんな立派なものがあるんだと感動した。本当によい経験になったのでまたやることがあれば積極的に参加したい。
- 今回、初めて大人神輿を担いだ。地域の方が自分たちの知らないことをたくさん教えてくれて、とても楽しく参加することができた。たくさんの方の協力があって、このようなことができていたのだと思った。これからは積極的に祭りに参加したい。
- 私は、子ども用の神輿を主に手伝っていたけれど、沢山の人が協力して、小さい体でもしっかりと担いでいて、私もちょっと頑張ろうと思いました。地域の支えがあって成り立っていることを改めて実感しました。
- 自分は4年前にもこの祭りに参加したが、今年が今までで一番やりがいがあった。中3になって身長が伸びてちゃんと参加できる気がした。5回もお神輿を担いで本当に疲れたけど、本当に楽しかった。

すべての生徒たちの感想を読み終えた後、生徒たちがお祭りを通して感じたであろう、3つの言葉が浮かびました。それは「やりがい」、「達成感」、「一体感」という言葉です。

地域の方から「ありがとう」と言われたこと（やりがい）、「上手だね」と褒められ、最後までやり通せたこと（達成感）、小さい子どもから大人、お年寄りの方まで幅広い世代の人たちと触れ合えたこと（一体感）など、地域のよきや温かさを改めて感じたようです。

これからも西中生を温かく見守っていただきますよう、よろしくお願いたします。

生徒の感想でもう一つ多かった感想がありました。休憩時のジュース、お菓子、フルーツ、お弁当がとてもおいしかったです、とのこと。本当にありがとうございました。

